

1. 建設計画

1-1 建設予定地の位置と規模

□建設予定地の概要

- ・近隣に文化施設、教育施設及び公共施設等が立地し、周辺施設との連携や利用者の回遊が期待でき、学生から観光客、別府市民まで幅広い利用者に対して利便性が高い
- ・別府公園内に位置し、豊かな公園の環境を活用することが可能であり、図書館が立地する環境として優れている
- ・近隣に多くの緑地や公共施設等が存在し、別府市のシンボル景観拠点らしい、これからの別府を代表する景観をつくっていくことができる



□建設予定地の詳細(2019年1月現在)

別府公園	
所在地	大字別府字 野口原 3018 番地 1 ほか
敷地面積	272,936 m ² (概算値)
既存建物面積	23,379 m ²
建ぺい率	(※1) 12% 都市公園法
建築可能面積 (建築面積)	9,374 m ² (272,936x12%) - 23,379 うち便益施設約 2,093 m ²
文化ゾーンの現在の状態	・駐車場は、現在周辺施設の臨時駐車場として利用されている。 ピーコンプラザのイベント時や市役所行事等開催の折には稼働率が高い。

用途地域

別府公園文化ゾーン		
用途地域	第2種住居地域	
都市計画施設	都市公園	
地区計画	—	
景観計画区域	風致地区第4種	
高さ制限	15m (風致地区第4種)	
用途規制	別府公園文化ゾーン	
共同住宅、寄宿舎、下宿	○	
兼用住宅	○	
店舗	○ (10,000m ² 以下)	
事務所	○	
ホテル、旅館	○	
店舗・飲食店・展示場等	○ (10,000m ² 以下)	
運動施設	○	
公共施設	幼稚園	○
	大学	○
	図書館	○
	美術館	○

その他の項目

別府公園文化ゾーン	
JR別府駅からの距離	1.4km 徒歩21分
接道	○
バス路線	4系統12路線(ピーク時1時間12本)
観光客誘致(大型バスP)	◎
海拔	60m
半径600m以内の避難所設置状況	5か所
文教・行政施設設置状況	しいきアルゲリッチハウス ピーコンプラザ 別府市美術館 京大理学部研究施設(国登録有形文化財) 小学校・幼稚園・保育所(境川、山の手・明星) 高校(翔青、明豊)、中学校(中部、青山、明豊) 別府市役所

※建物種別によってはこの限りではない



1. 建設計画 1-2 場所の特性、連携性



別府のまちを凝縮した多様性をもつ文化拠点となる公共空間

○創造的な知の拠点

新図書館が周囲に点在する文化施設や研究施設、大学とネットワークを形成し、知の拠点となることを目指します。

○別府のシンボル景観拠点

既存の周辺環境を尊重し、複数の公共建築と別府公園が形成している別府のシンボリックな景観を共につくる役割を果たします。また、現状の緑豊かな景観も引き継ぎます。

○別府の情報発信拠点

複数の文化施設、教育施設及び公共施設等が集まっており、国内外との交流やふれあいの拠点、多様な情報を受け入れ、別府の情報を発信する拠点となることを目指します。

○地域のネットワーク

周辺には住宅地が広がっており、地域の方々が主体的に活動できる場や幅広い年代が気軽に関わることのできる場を計画します。

○緑のネットワーク

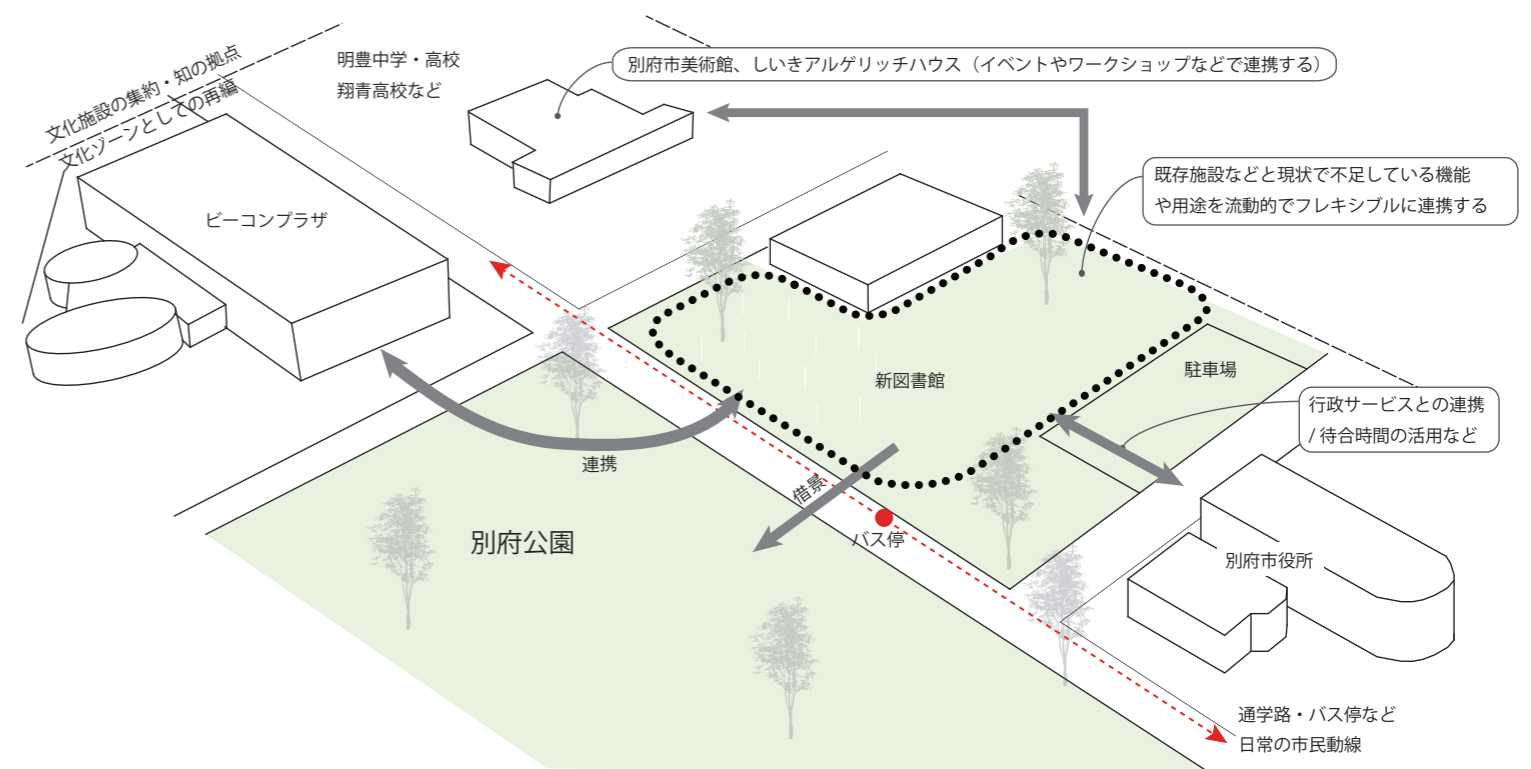
別府アリーナ-別府公園-野口原総合運動場-実相寺中央公園へと続く緑のネットワークの中心に位置しているので、可能な限り既存の樹木と緑地を保全します。

○歩行者ネットワーク

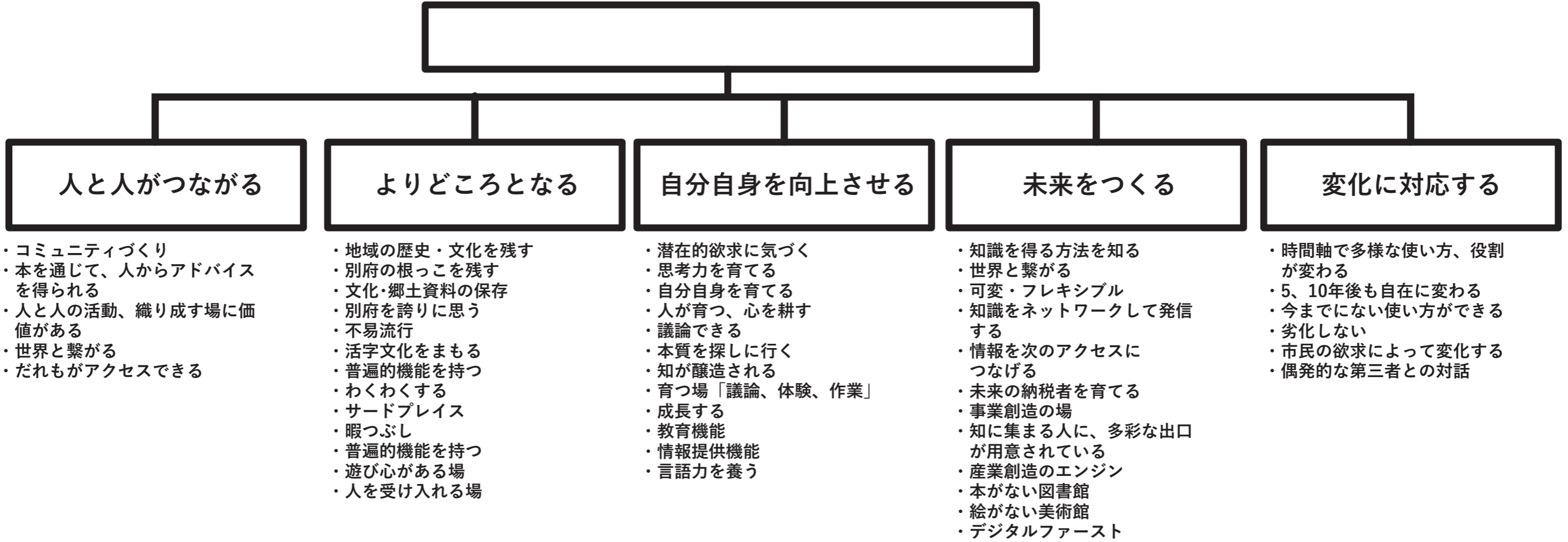
既存の歩行者ネットワークに、安全性確保を最優先にバリアフリーにも配慮した歩行空間を加え、歩行者の回遊性と利便性を向上させます。

隣接する別府の資産とネットワークをつくることのできる新図書館の立地的条件

- ・ビーコンプラザとの連携
- ・別府市立美術館やしいきアルゲリッチハウスとの連携
- ・別府市役所との連携
- ・別府公園との連続



基本理念



□新図書館の施設整備方針

stepA 別府に新たに整備する公共空間として

- A-1)別府の歴史や風土、産業を尊重する
- A-2)全ての人々が利用しやすいボーダレスデザインとする
- A-3)別府の暮らしの楽しさを発信する
- A-4)別府に住んでいる人が別府のいいところを知る、発見する
- A-5)別府市民の「よりどころ」をつくる
- A-6)メンテナンスがしやすく効率的な維持管理ができる
- A-7)森林資源に恵まれた大分県産材の活用に努める
- A-8)別府のシンボルとなる景観拠点の発展に貢献する
- A-9)利用者の安全を確保する
- A-10)温湿度、照明、採光、音響等の利用者環境を快適に保つ
- A-11)長寿命で省資源な持続可能性に配慮する
- A-12)職員が働きやすい環境とする

>>>

stepB 別府公園に創る公共空間である文化施設として

- B-1)そこへ行くとゆっくりできるサードプレイスとなる
- B-2)公園とつながり、広がりを持つようなオープンな空間とする
- B-3)学生や子ども、親子連れ、高齢者、留学生、観光客など、多様な人が集い交流がうまれる空間とする
- B-4)別府公園が持っている歩行空間と連続し、施設での行動が公園に向けて広がる
- B-5)時間帯によって変化する使い方や利用者に対応する
- B-6)何でもない空間、何も無い空間、余白がある空間をもつ
- B-7)個人的なプライベートな空間と、パブリックな公共空間の中間をつなぐ空間をもつ
- B-8)時間軸でフレキシブルに変化できる多機能性をもつ
- B-9)別府公園、市立美術館、アルゲリッチハウス、ビーコンプラザ、市役所などの公共空間の活動と連携することができる空間をもつ
- B-10)公図書館機能が公園と一体化し、公園全体が図書館になる

>>>

stepC 文化拠点である図書館として

- C-1)全ての人々が知識や情報にアクセスできる、または、アクセスするチャンスを得ることができるネットワーク機能をもつ
- C-2)交流や情報交換を行いながら、郷土資料を発掘する活動を行うことができる
- C-3)別府の資源、地域の財産を学び、再認識できる
- C-4)地場産業である観光について学ぶことができる
- C-5)新しいネットワークをつくり、起業のアイデアを実現できる
- C-6)町のいろんな活動をサポートする
- C-7)学習や自己啓発をサポートする
- C-8)子育て支援や教育機能をサポートする
- C-9)地域の医療施設と連携し、医療・福祉をアシストする
- C-10)議論する、体験する、作業することができる
- C-11)公園の様子を見ながら本を読むことができる

2. 施設計画
2-2 新図書館の機能

□新図書館機能のダイアグラム

○新図書館の機能

これまでの委員会より、
新図書館は3つの特徴的な性質の場が混ざり合い、それらをつなぐサードプレイスにより構成される。
新図書館は、「交流の場」、「学びの場」、「育む場」という3つの場を包含するサードプレイスとしての図書空間が、個人的でプライベートな空間とパブリックで公共的な空間の中間領域でつなぐことで、「障害がある人もない人も、年を取った人も、子どもも、みんなが分け隔てなく豊かに生きられるための社会をアシストをすることができる。

○新図書館を構成する4つの場

・交流の場

公園とつながる広がりを持つオープンスペースに多様な人が集うことにより、新たな交流や情報交換を生んだり、知恵や経験を共有することができ、別府の暮らしの楽しさを発信できる。

・学びの場

郷土資料の発掘や地場産業の学習を通して別府の資源や財産をしっかりと再認識することができる。
また、生きる知恵を得るために、情報の検索や知りたい情報につながることによって自己啓発を行うことができる。

・育む場

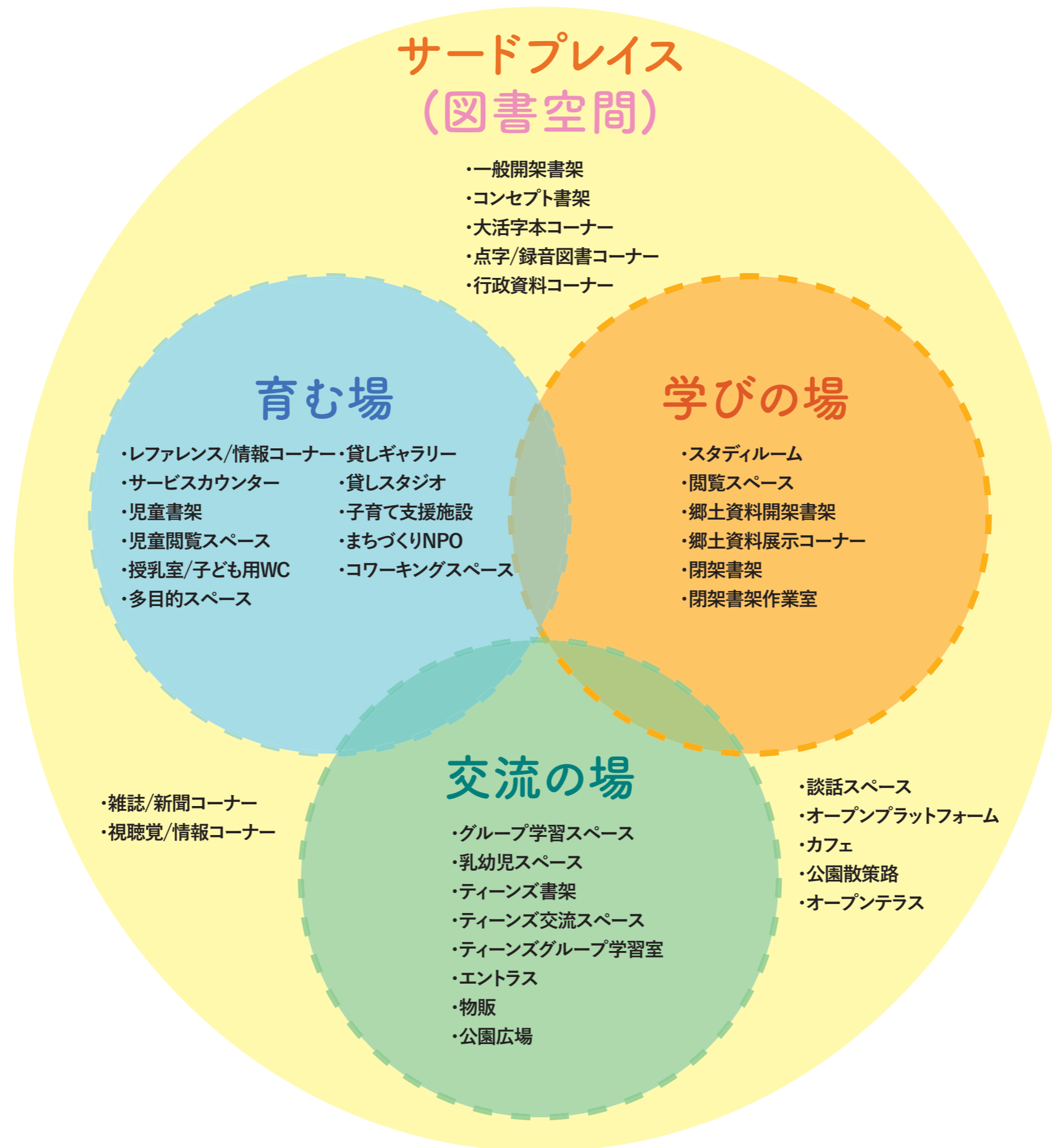
乳幼児スペースや児童教室を設け、子育て支援を行うことができる。
高齢者の居場所を作り、健康寿命の向上に貢献することができる。
新しいネットワークをつくり、起業のアイデアを実現し別府の新たな産業を生み出すことができる。

新図書館機能のダイアグラム



新図書館機能のダイアグラム(スペースver)

□新図書館機能のダイアグラム



2. 施設計画 2-2 新図書館の機能

□新図書館の施設整備リスト

※基本・実施設計の際に各諸室について、更に詳細な検討が必要である

※赤文字部分は未定値である

※施設の面積については蔵書数を決定後に再検討を行う

部門・ゾーン	機能	機能の説明	エリア	場所の説明	面積(仮)	スペース(例)	性質	スペース・コーナーの説明	
新図書館	利用者のためのゾーン	図書サービス機能	開架エリア	開架図書冊数は**万冊配架できるスペースを確保する。書架レイアウトは人の背後を車イスやブックトラックが通行できるユニバーサルデザインとする。また書架高については図書館内の見通しを確保し、現在位置を把握しやすいようにする。公園との空間的な連続性にも配慮する一方、保存用の図書や貴重な図書については直射日光による劣化に配慮する	適宜 蔵書数 **万冊	(例) 一般開架書架	図書空間	開架図書冊数は**万冊配架する	
						(例) コンセプト書架		別府らしい蔵書を配架したスペース	
						(例) 大活字本コーナー		目に優しく読みやすい大活字本を配架したスペース	
						(例) 点字・録音図書コーナー		点字・録音図書を配架したスペース	
						(例) 雑誌、新聞コーナー		新聞**紙、雑誌**誌を配架したゆとりのあるスペース	
						(例) 行政資料コーナー		別府市の行政文書や刊行物等を保存し、情報の提供を行うスペース	
						(例) 視聴覚・情報コーナー		CDやDVD等を配架したスペース	
						(例) スタディールーム		サイレントゾーンとなった自学専用スペース(**席)	
						(例) 閲覧スペース		周辺の機能に対応した様々な閲覧方法ができる多機能な閲覧スペースとする	
						(例) グループ学習スペース		グループ学習や討論会などを行うスペース	
						(例) レファレンス・情報コーナー		利用者の調査・研究・相談支援を手助けする	
						(例) サービスカウンター		図書の貸出・返却・問い合わせに対応する	
	利用者のためのゾーン	乳幼児児童エリア	子どもたちが楽しく本に触れるきっかけをつくり、親子でゆっくりと本を通したコミュニケーションを取ることができる	乳幼児児童エリア	(仮)350	(例) 児童書架	育む場	子ども達の賑やかさに配慮した場所に配置し、書架や閲覧用テーブル、椅子などのサイズは子どもの身体に合わせたものを用いる	
						(例) 閲覧スペース		絵本などを通して親子の交流を図る。また公園と連続したスペースとし、遮音機能を持つ	
						(例) 乳幼児スペース		授乳室と子供用WCは別々に計画する	
						(例) 授乳室・子ども用WC		様々な郷土資料を収集し、郷土学習をアシストする	
						(例) 開架書架		郷土資料や地域情報の企画展示を行うコーナー	
						(例) 展示コーナー		中高生が集まり交流することのできるスペースであり、ティーンズ書架と一体的に活用する	
	利用者のためのゾーン	郷土資料エリア	郷土の歴史や風土を学ぶことができ、かつ市民や観光客に対して発信できる	郷土資料エリア	(仮)200	(例) ティーンズ書架	交流の場	学生グループが合同で作業したりすることのできるスペース	
						(例) 交流スペース		総合案内や案内表示、情報スペースなど新図書館の全体像が把握できる場とする	
						(例) グループ学習室		公園を眺めながら、飲食したり、本を読んだり、談話をすることができる	
						(例) エントランス		天井が高く、普段は余白の空間でワークショップを行ったり、イベントを行ったりする開かれたスペース	
						(例) 談話スペース		利用者動線を考慮し、ユニバーサルデザインに配慮する	
						(例) オープンプラットフォーム		読み聞かせやセミナーや集会やグループ学習を行うことのできるスペース	
利用者のためのゾーン	ティーンズエリア	中高生をターゲットに読書や知識の活用の仕方を学ぶことができる	ティーンズエリア	(仮)200	(例) WC、廊下、授乳室	育む場	企画展示などを行うことのできる高天井(天井高さ5m程度)スペース。		
					(例) 多目的スペース		3Dプリンターや映像製作などを行える制作スタジオ		
					(例) 貸しギャラリー				
					(例) 貸しスタジオ				
					(例) 子育て支援施設				
					(例) まちづくりNPO				
利用者のためのゾーン	共用・集会アート機能	1)市民の交流や憩いの場 2)文化活動や地域活動のサポート ※運営方式とともに 諸室の大きさやスペックなどの詳細を検討する	共用エリア	適宜	(例) コワーキングスペース	サードプレイス			
					(例) カフェ				
					(例) 物販				
					(例) 図書館事務室		図書館事務・管理の執務を行う		
					(例) 作業室		返却資料の整理、仕分け、選書などの作業を行う		
					(例) スタッフルラウンジ		自然採光の取れる場所で図書館職員の休憩などを行う		
利用者のためのゾーン	プラスα機能〔交流〕	街なかや周辺施設との連携、市民参加のサポート	連携活力エリア	適宜	(例) ロッカー室	育む場	図書館員の更衣室。ロッカー室も兼ねる		
					(例) 倉庫		運営・事務用品の収納を行う		
					(例) 設備・機械・電気・サーバー室		2階建以上の場合、エレベーター機械室も設置する		
					(例) 移動図書館車庫		歩行者の安全性に配慮した位置に設置する		
					(例) 作業スペース		移動図書館車庫に付属する作業室		
					(例) 作業室		閉架図書冊数は**万冊程度を配架する		
利用者のためのゾーン	プラスα機能〔収益〕	稼ぐ公共施設として、公民連携による図書館の魅力向上をサポート	連携活力エリア	適宜	(例) 物販	交流の場	閉架書庫に付属する作業室		
					(例) 図書館管理エリア				
					(例) 図書館ネットワーク機能				
					(例) 資料保存機能				
					(例) 管理運営のためのゾーン				
					(例) 保存のためのゾーン				
合計(m ²)						蔵書数が決定後に再検討を行う			
外構	公園散策路	既存環境を尊重し、公園内歩道やベンチなどを配置し、公園広場と一体的に活用でき、別府公園と連続するように敷地全体を計画する					サードプレイス		
	公園広場	既存環境を尊重し、イベントや周辺施設と連携し利用可能な広場を設ける (例)エントランス広場、イベント広場、芝生広場など					交流の場		
	オープンテラス	カフェや談話スペースと連続した外部空間を設ける					サードプレイス		
	駐車場	歩行者の安全性に配慮した計画とし駐車台数は**台程度とする。障がい者用駐車場は雨天時にも施設にアプローチしやすい位置に計画する							
	駐輪場	歩行者の安全性に配慮した計画とし駐車台数は**台程度とする。							

2-4 新図書館の目標蔵書数

① 現・別府市立図書館の蔵書数

約 228,315 冊

② 新図書館と類似する規模や用途の図書館

図書館名称	奉仕人口	延床面積(m ²)	蔵書冊数(冊)	<p>これまでの委員会での蔵書に関するキーワード</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ デジタルファースト ・ 本の無い図書館（紙がない図書館） ・ 蔵書は町づくりや政策を発信するための装置 ・ 市立ならではの文化・郷土資料などが大事 ・ 悪い図書館は蔵書をつくり、普通の図書館はサービスをつくり、いい図書館はコミュニティをつくる ・ 重要なのは蔵書数ではなく、いかに情報にアクセスできるか ・ 図書館は本を集める・並べるのが目的ではない ・ 時代の変化に対応する本の蔵書数や方針を決めるべき ・ 紙ペーパーとは違う、情報の検索の機能も考えていかないと
八千代市立中央図書館	195,000	4,860	170,000	
海老名市立中央図書館	130,000	3,579	300,000	
大和市立図書館	235,000	5,350	400,000	
新発田市立中央図書館	100,000	2,414	210,000	
大崎市図書館	130,000	3,842	170,000	
土浦市立図書館	140,000	5,118	340,000	
沖縄市立図書館	140,000	5,041	180,000	
釧路市中央図書館	170,000	5,300	330,000	
都城市立図書館	165,000	8,046	300,000	
平均値	156,111	4,839	266,667	

③ 新図書館等が目標とする蔵書数

??? 冊